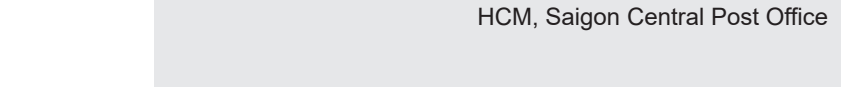


ベトナムは過去2年間で約1,100万人の感染者を出し、新型コロナウイルスの影響を大きく受けたものの、ポストコロナに向け徐々に回復し、「ニューノーマル」に移行しています。



Hanoi, pedestrian street



HCM, Saigon Central Post Office



1. 新型コロナウイルス流行に関連する入国制限の撤廃

外国人観光客受け入れ再開

2022年3月15日、ベトナム政府は外国人観光客の受け入れを再開し、大半の入国制限を停止すると発表しました。入国前のPCR検査が不要になり、日本を含む13カ国¹からの渡航者は入国目的に関係なく15日間以内の滞在ではビザ取得が免除されるなど、入国に関する規制が撤廃されています。また、全てのサービス業が営業可能となり、飲食店の午後9時以降の営業²やバー、ナイトクラブなども、医療申告なしで営業可能となっています。

2. 市民生活の様子

新型コロナ流行以前のように回復

2021年10月、ベトナム政府は「ウィズコロナ」に向けて社会的隔離措置を緩和、症状の軽い感染者は集中隔離治療の必要がなくなり、完全自宅療養に切り替わりました。2022年初頭に感染の波が来ましたが、現在市民生活は新型コロナ流行以前のように戻りつつあります。現在の感染者数は1日あたり2,000人前後で変動しており、死亡者は新規感染者の1%未満となっています（22年5月、保健省）。

オフィス、学校、病院を含む全ての施設が検査なしで出入り

可能になっています。公共スペース、公共交通機関やベトナムが主催する東南アジア競技大会のような大規模イベントにおいても、ソーシャルディスタンスの確保は求められていませんが、マスクの着用が奨励されています。

3. ビジネスの回復状況

新型コロナ流行下、ベトナム政府は経済を安定させ国民の生活を守るための多くの財政・金融政策を実施しました。

国会決議43/2022/QH15によると、政府は2022年から23年の2年間、医療、社会保障、雇用、企業支援、インフラ開発に国家予算から176兆VND（≒1兆円※1円=176VND換算）を投じる計画を承認しています。具体的には、国会決議11/NQ-CPに基づき銀行は新型コロナ流行の影響を受けた顧客のローン返済条件の変更、金利の引き下げ、債権分類の維持を行っています。また、政令15/2022/ND-CPに基づき一部の特定分野を除く商品・サービスに対する付加価値税率が10%から8%に時限的に引き下げられています。期限措置はどちらも2022年2月1日から12月31日までとなっています。

工場・オフィスは通常操業

2021年10月、政府はウィズコロナに向けた操業再開を許可し³、2021年末には南部の工場の9割近くが安定した受注、生産体制を確保していました（2021年、商工省⁴）。2022年初頭のテト休暇以降は、工場やオフィスの操業体制は新型コロナ流行以前の状態に戻っています。

ベトナムの経済状況

計画投資省統計総局（GSO）の報告によると2022年第1四半期の輸出高は890億米ドル、輸入高は880億米ドルとなっており前年同期比でそれぞれ13%、15%増加しています。2016年以降、ベトナムは新型コロナ流行下、流行後でも常に貿易黒字を維持、2018年から2020年かけて黒字は大幅増加、しかし2021年は2020年にかけて輸入の続伸、工業生産量減少から黒字は縮小しました。登録企業数は2020年、2021年のパンデミック時には新規設立は激減しましたが、2022年第1四半期に新規設立、操業を再開した企業数は前年同期比36.7%増となっています。また、GSOの景気動向調査によると、80%以上の製造・加工企業が2022年第2四半期の工業生産量は第1四半期と比べ、安定または増加すると答えています。



Hanoi, pedestrian street

5. ベトナムに出張する際の留意点

現在、旅行やビジネスミーティングにおいて厳しい制限はなく、外国人であってもPCR検査や健康申告を求められることはありませんが、旅行者にはマスクの着用と新型コロナに感染した場合の治療費として最低補償額10,000米ドルの旅行保険への加入が推奨されています⁵。ビジネスミーティングの場では、新型コロナ流行以前と違い、マスクの着用が通例となっています。また、人件費や交通費削減のためハイブリッド型（オンラインと対面）が浸透しつつあります。しかし、新型コロナウイルスをめぐるとの対応策やビジネスの状況は現在も流動的ですので、現地訪問先とよく打ち合わせを行うなど、直近の情報収集が不可欠です。

ご清覧ありがとうございました。

Tokyo SMEサポートデスクベトナムでは、都内中小企業の皆さまのベトナム展開を支援しています。

ご利用を心よりお待ちしております。

【執筆】

Tokyo SMEサポートデスクベトナム受託事業者
B&Company株式会社

4. 展示会の開催状況

今年はホーチミン、ハノイを中心に2年ぶりに各種展示会の開催が予定されています。テクノロジー・製造分野では、MTA Vietnam、Saigon Tex、Metalex Vietnamなど20件以上の展示会、建設・不動産分野では、VietbuildやVIFA Expoなど10件程、食品と農業分野ではViet Food & Beverage、Pro Pack Vietnam、Coffee Expo Vietnam、ILDEX Vietnamなど10件程が予定されています。2022年9月には、ベトナムの観光振興や外国人のベトナムへのイメージアップを目的としたイベントであるInternational Travel Trade Martが再開される予定となっており、同イベントには航空会社、ホテルやリゾート、旅行会社をはじめとする多くの大企業、外国の観光促進機関の代表など200以上の出展が予定されています。また、新型コロナ流行以前と違いハイブリッド方式の展示会運営が導入されており、2022年4月に開催されたVietnam Expoでは、対面だけでなくオンラインとオフラインのブースが設けられました。展示会来場者は、Vietnam Expoの例では、新型コロナ流行以前（2019）21,500人、コロナ禍（2021）10,250人と減少、流行後（2022）では、15,970人と回復基調にあります。



Hanoi



HCM, Book Street

REFERENCES:

- ドイツ、フランス、イタリア、スペイン、イギリス、ロシア、日本、韓国、デンマーク、スウェーデン、ノルウェー、フィンランド、ベラルーシ。
- ハノイ市の通達（No.243/KD-UBND）により、2021年11月1日から飲食店は感染対策のため午後9時に閉店しなければならないとされていた。
- 2021年半ば、工場の従業員には泊まりこみでの操業が求められた。コストがかかることから多くの企業が操業を停止し、操業率が全体の30~50%に低下した。
- <https://moit.gov.vn/tin-tuc/bao-chi-voi-nguoi-dan/hon-90-doanh-nghiep-khoi-phuc-hoat-dong-dong-nai-binh-duong-tro-lai-trang-thai-binh-thuong-moi.html>
- <https://vietnamese.cdc.gov/coronavirus/2019-ncov/travelers/masks-public-transportation.html>

問合せ先

公益財団法人東京都中小企業振興公社

販路・海外展開支援課

TEL：+81-(0)3-5822-7241

E-mail：ttc@tokyo-kosha.or.jp

Website：https://www.tokyo-kosha.or.jp/TTC/

Tokyo SMEサポートデスク
ベトナムへのご相談はこちらから

